

韓国語の副詞の習得についての考察

石 賢敬*

A Study on the Acquisition of Korean Adverbs

Hyungoeng SOK

要旨：本稿は、韓国語の副詞の習得についてテキストを中心に検討することを目的とする。初級レベルで（KOREAN I-II）の副詞の学習は、単純副詞と決まり文句に含まれる副詞である。また形容詞から派生する派生副詞の学習も行われるが、これらの副詞は、次のレベルで習得する文脈によって意味上の差を見せることもある。この段階で述語を修飾あるいは制限する陳述副詞を習得することになる。

次の中級レベル（KOREAN III）では、文脈によって意味の違いを見せる副詞についてテキストの例文をあげて検討する。そして重複する副詞で形成する複合副詞、擬態語、否定の金術副詞、類似する意味をもつ異形の副詞などを学習する。

副詞の種類は韓国語の学習時間とともに増加して、上級レベル（KOREAN V-VI）では形容詞から派生する派生副詞だけでなく、擬声擬態語と慣用句を含む副詞の学習も行われる。

Abstract :

The purpose of this study is to examine the acquisition of Korean adverbs focusing on textbooks.

In the beginner stage (KOREAN I-II), the adverb of the phrases and simple adverb is learned. In addition, learning of derivational adverbs derived from adjectives is also done. These adverbs may show semantic differences depending on context in the next stages. In the following intermediate stage (KOREAN III), the adverbs that show differences in meaning according to context are reviewed by listing to the examples of textbooks. And we learn adverbs with overlapping adverbs, compound adverbs, adverbs including onomatopoeia, statement adverbs of negation, and other forms of adverbs with similar meanings.

The types of adverbs that are acquired increase with the learning time of Korean, and in the upper stage (KOREAN V-VI), adverbs including onomatopoeia, and idioms are learned as well as derivational adverbs derived from adjectives.

キーワード：副詞、派生副詞、意味

「副詞」について沖森編（2010）では、「動作・形容詞）を修飾する品詞である。」とし、「述部の状態などの様態、程度などを表し、用言（動詞・意味を限定する働きを持つ。」と定義している。

*関西学院大学国際学部常勤講師

また、寺村秀夫（1991）では、「活用せず、構文的にはもっぱら連用修飾にのみ用いられる語」と述べられている。서정수（1996）では、「副詞は体言以外の様々な文の成分を修飾する語である。副詞は各用言あるいは動詞句、冠形詞句¹⁾、ほかの副詞句、そして文全体を修飾対象としてそれらの叙述内容と程度を限定する修飾語である」と述べている。

本稿は、上記の副詞についての定義に基づいて、関西学院大学国際学部の〈KOREAN (I-V)〉授業のテキストである『이화 한국어 梨花韓国語』（日本語版）に出てくる副詞を中心に、韓国語の副詞の習得を日本人学習者の学習レベルごとに分けて検討することを目的とする。

まず、〈KOREAN I〉のテキスト『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』の副詞をみる。

1. 『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』の副詞²⁾

表1 KOREAN I

初出ページ	副詞	例文
55	조금	조금 어렵습니다.
71	잘	잘 부탁드립니다.
75	정말	정말 고맙습니다.
87	좀	말씀 좀 문졌습니다.
93	아주	아주 바쁩니다.
100	많이	머리가 많이 아파요.
	너무	너무 바빠요.
109	많이	사진을 많이 찍었어요.
117	많이	언니는 엄마를 많이 닮았어요.
103	같이	가족과 같이 외식해요.

1-1 「조금 すこし、ちょっと」

〈KOREAN I〉の教材である『이화 한국어 1-

1』ではじめて出てくる副詞は、p.55の「조금 すこし、ちょっと」で、程度副詞³⁾として分類される。

(1) 조금 어렵습니다. すこし難しいです。

副詞とは、「用言を修飾し、述部の意味を限定する働きを持つ」ということなので、〈用言の活用〉の学習とともに習得する語彙項目であると考えられる。

1-2 「잘 よく、よろしく」

(2) 잘 부탁드립니다. よろしくお願いします。

二つ目の副詞は、決まり文句である「잘 부탁드립니다. よろしくお願いします。」の「잘 よく、よく」で、これは情態副詞⁴⁾として分類される。決まり文句の一部として用いられる副詞は、p.87に出てくる「좀 すこし、ちょっと」もある。

1-3 「좀 すこし、ちょっと」

(3) 말씀 좀 문졌습니다. ちょっとお尋ねいたします。

この副詞は p.55 「조금 すこし、ちょっと」の縮約形であるといわれる。ただし、「좀 すこし、ちょっと」が「조금 すこし、ちょっと」の縮約形であるとしても、その意味と使い方には違いがあり、決まり文句で表現される副詞の場合、その意味の差が明らかに出てくる⁵⁾。例えば、「물 좀 주세요. お水（ちょっと）ください。」の場合、「좀 すこし、ちょっと」という副詞が表す意味とは、「すこし、ちょっと」ではなく、お願いするときの婉曲な表現のために用いられるものと考えられる⁶⁾。

このように、韓国語の学習の初級レベルである〈KOREAN I〉は、副詞の本来の役割である「用言を修飾する・用言の意味を限定する」ために表

1) 体言の前に用いられその体言について修飾する品詞。「冠形詞」とは「連体形」である。

2) 〈表1〉には、「똑바로 まっすぐ」のような位置関連の副詞と「곧장 すぐ」という時間関連の副詞、また時制の意味を持つ「지금 今、요즘 最近」などの副詞は取り扱わない。

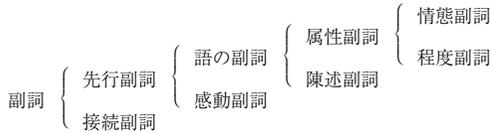
3) 主としてほかの性質・情態の属性を修飾する副詞。

4) それ自身で、事物の属性・情態を表し、主として用言を修飾・限定する。

5) 「조금 すこし、ちょっと」とその縮約形である「좀 すこし、ちょっと」については、次の「2. 『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』の副詞」で詳しく見ることにする。

6) 「좀 すこし、ちょっと」を省略して、「물 주세요. お水ください。」も使われる。

現されるだけでなく、決まり文句のなかに含まれる副詞の学習もほぼ同時に行われることがわかる。なお、山田考雄（1936）は副詞を次のように分類する。



1-4 「많이 多く、たくさん」

(4) 사진을 많이 찍었어요. 写真をたくさん撮りました。

「많이 多く、たくさん」は、p.109に出てくる副詞で、「많다 多い」という形容詞から派生した副詞である。副詞の形成される分類のうち、「転生副詞」と分類される。接尾辞「-이」がついた副詞で基本的な意味は「多く」になるが、日本語に訳すときは文脈によって次の例の「すごく、よく」など様々な訳が考えられる副詞である。

- (5) 머리가 많이 아파요. 頭がすごく痛いです。
- (6) 언니는 엄마를 많이 닮았어요. 姉は母によく似ています。

なお、서정수（1996）は、副詞をその形成するパターンによって、次の三つに分類する。

- ①単純副詞（本来の副詞）：単一の形態である副詞
- ②複合副詞（合成副詞）：副詞およびほかの単語などが合成する形の副詞
- ③転生副詞：ほかの品詞である単語の語形が変化して形成される副詞（以下、派生副詞とする。）

2. 『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』の副詞

表 2 KOREAN II

어서	아주	너무	좀	주로
아직	제일	계속	같이	즐겁게
정말	무척	가장	중요하게	더

조금	더 많이(?)	거의	다	크게
먼저	쉽게	잘	열심히	너무 많이
재미있게	정중하게	조용히	어떻게	바로
미리	빨리	일찍	꼭	많이
자주	즐거	나중에	다시	잠깐만
깜짝	언제나	친절하게	조금씩	천천히
별로	이따가	벌써	가끔	관계없이
끊임없이				

〈KOREAN I〉では8種類の副詞を学習するが、〈KOREAN II〉は、その5倍以上を学習することになっている。なお、「어서」とは、「速く、さあ、どうぞ」と意味があるが、ここでは「어서 오세요. いらっしゃいませ。」という決まり文句に含まれる副詞である。また、動詞「즐기다 楽しむ、好む」の連用形「즐거 이のんで」という副詞も学習する。

2-1 「조금, 좀 すこし、ちょっと」

程度副詞である「조금, 좀 すこし、ちょっと」は、1-3で取り上げた通り「좀」が「조금」の縮約形である。

2-1-1 「조금」

- (7) 조금 매워요. すこし/ちょっと辛いです。→좀 매워요.
- (8) 조금 어려워요. すこし/ちょっと難しいです。→좀 어려워요.
- (9) 조금 쌀쌀해요. すこし/ちょっと肌寒いです。→좀 쌀쌀해요.

(7-9)の「조금」は「좀」との置き換えが可能で、意味上の違いはないといえる。では、次は「좀」から「조금」への置き換えおよび意味についてみる。

2-1-2 「좀」

- (10) 전자사전은 좀/조금 비싸요. 電子辞書はすこし/ちょっと高いです。
- (11) 좀/조금 깎아 주세요. (すこし/ちょっと)まけてください。

7) 重複する副詞を太字にしている。

- (12a) 사진 좀/* 조금 찍어 주세요. 写真 (*すこし/ちょっと) 撮ってください。
 (13a) 길 좀/* 조금 묻겠습니다. 道を (*すこし/ちょっと) お尋ねします。

(10) は、「전자사진은 조금 비싸요.」のように、「조금」と置き換えても意味上の差はない。(11) も、「조금 깎아 주세요.」のように置き換えが可能である。

ところが、(12a) と (13a) は (12b-13b) のように、「조금」への置き換えができないのである。これは、(12a-13a) の日本語への訳とも関係することと思われる。また、すでに 1-3 で挙げている「말씀 좀 묻겠습니다. ちょっとお尋ねいたします。」のような決まり文句として分類することができる。

- (12b) *사진 조금 찍어 주세요.
 (13b) *길 조금 묻겠습니다.

一方、テキストの内容ではないが、会話で用いられるときの「좀」と「조금」については、次のような説明もある。

「좀」は、意志や感情の表現で、量や数値の基準ではないため、「조금」との意味の違いが表れる場合もある。)

- (14a) 좀 다쳤다. ちょっと怪我した。/かなり怪我した。
 (14b) 조금 다쳤다. ちょっと怪我した。/あまり怪我してない。
 (15a⁸⁾) 좀 먹어. ちょっと食べる。/たくさん食べる。
 (15b) 조금 먹어. ちょっとたべる。/あまり食べない。

2-2 「잘」

状態副詞として分類される「잘」は、〈KOREAN I〉では「잘 부탁드립니다. よろしくお願いします。」と自己紹介の際に使われる「よろしく」の意味として学習するのに対し、〈KOREAN II〉では「よく」というその基本的な意味として用いられる表現を見ることができる。

- (16) 길을 잘 몰라서 경찰관에게 물었어요. (p.67)
 道がよくわからなくて警察官に尋ねました。

- (17) 네, 잘 알겠습니다. (p.139)
 はい、よくわかりません。

また、〈KOREAN II〉で学習する「잘」は、次のように意味の拡張を表す場合もある。

- (18) 그리고 길도 잘 알아야 돼요. (p.121)
 そして道も {よく/しっかり} 分かなければなりません。

- (19) 서울은 정치, 경제, 문화, 교육, 교통 등 생활의 중심지로 지하철, 버스, 택시 등 대중교통이 잘 발달되어 있습니다. (p.78)

ソウルは政治、経済、文化、教育、交通など生活の中心地として地下鉄、バス、タクシーなどの大衆交通が {?よく/立派に/見事に} 発達している。

- (20) 휴가 잘 보내세요. (p.41)
 休暇を {?よく/元気に} お過ごしください。

2-3 「많이」

〈KOREAN I〉で学習する派生副詞「많이」は、形容詞「多い」から派生する「多く」の意味である。「(4) 사진을 많이 찍었어요. 写真をたくさん撮りました。」と「すごく」、「よく」と訳される場合であった。まず、「많이」の基本的な意味と思われる「多く」の意味をもつ表現からみる。

2-3-1 「多く、たくさん、いっぱい、大勢」

派生副詞の意味と思われる「많이」の例は次のようである。

- (21) 그리고 여러가지 음식을 많이 먹었습니다. (p.61)
 そして色々な料理をたくさん食べました。
 (22) 전 갈비탕을 많이 먹었어요. (p.59)
 私はカルビタンをいっぱい食べました。
 (23) 친구들이 많이 옵니다. (p.60)

8) 「에 많이 먹어? (この子たくさん食べる?)」という質問に答える例である。

友だちが大勢来ます。

- (24) 사람들이 많이 이용하는 대중교통 중의 하나인 지하철은 9호선까지 있습니다. (p.78)

人々が多く利用する大衆交通の一つである地下鉄は9号線まであります。

- (25) 특히 6월 중순부터 7월 하순까지 비가 많이 오는데 이 기간을 장마철이라고 합니다. (p.94)

特に、6月中旬から7月の下旬まで雨がたくさん降りますがこの期間を梅雨といいます。

2-3-2 「すごく」

〈KOREAN II〉で出てくる副詞「많이」のうち、この意味として学習する表現は次の例である。

- (26) 어제 너무 많이 걸어서 다리가 아파요. (p.67)

昨日すごく歩きすぎて脚が痛いです。

2-3-3 「かなり、だいぶ、よく」

- (27) 겨울에 서울은 오키나와보다 많이 추워요. (p.93)

冬のソウルは沖縄よりかなり寒いです。

- (28) 어디에 많이 가요? / 제주도와 진해에 많이 가요. (p.84)

どこによく行きますか。 / 済州島と鎮海によく行きます。

2-3-4 重複する副詞として用いられる

「많이」は単独で用いる場合のほかに、強調の意味を表しながら「더 もっと」「너무 とても、すごく」という副詞と重複して表現する「더 많이」、「너무 많이 (26)」の場合もある。

2-4 派生副詞

派生副詞については、接尾辞「-이」がついた副詞である「많이 多く」のほかに、〈KOREAN II〉では、「관계없이 関係なく」「끊임없이 絶え間なく」もある。なお、「빨리 速く」も接尾辞「-이」形の副詞である。さらに、接尾辞「-

이」の異形である「-히」のつく「조용하다 静かだ」からの派生副詞「조용히 静かに」も学習する⁹⁾。また、形容詞を副詞化する「-게」を含む副詞、「즐겁게 楽しく、중요하게 重要に、친절하게 親切に、재미있게 面白く」なども語彙項目としてあらわれる。

2-5 陳述副詞

陳述副詞とは、述語の陳述のしかたを修飾・限定するもので、述語を否定・推量・家庭・希望・断定などの表現の導く副詞である。また、話し手の気持ちを表すのに用いられるもので、〈KOREAN II〉では、「언제나 いつも、가끔 時々、꼭 きっと・必ず」という副詞を学習する。

このように、〈KOREAN II〉で学習する副詞は、〈KOREAN I〉に比べて副詞の数および種類においても学習レベルが高くなっていることがわかる。

3. 『이화 한국어 梨花韓国語 2-1』の副詞

〈KOREAN III〉ではじめて学習する副詞を次の〈表3〉にまとめる、

表3 KOREAN III

앞으로	공짜로	대체로	제대로
새로	서로	스스로	바로
훨씬	그냥	따로	계속
굳이	골고루	진혀	항상
늘	폭	싸게	저렴하게
단순히	특별히	분명히	당연히
꾸준히	철저히	잘못	

3-1 複合副詞

単純副詞と派生副詞の次に、〈KOREAN III〉では、複合副詞の学習が行われる。

複合副詞とは、副詞およびほかの単語などが合成する形の副詞のことである。

「앞으로」は、「앞 前」という名詞に「-(으)로

9) 「천천히 ゆっくり」は、形容詞の派生副詞でなく、「徐々に、自然に」などの名詞性語根に「-히」がついた副詞として、異なる分類が必要である。

へ、に」という助詞が合成した副詞で、意味は「これから、今後」である。同じような例として「공짜 ただ」という名詞に助詞がついた「공짜로」は、「ただで」という副詞である。名詞「대체 大体」に助詞がついた副詞の「대체로 大体に」も複合副詞である。

また、「잘못 誤って、間違って」という副詞は、名詞として用いられるときは「過ち、ミス」という意味も持つ副詞である。

3-2 擬態語

情態副詞は、〈KOREAN I〉からすでに学習する副詞であるが、〈KOREAN III〉で出てくる「곯ゆったり」と「깁잡 ぎよっと」は、各々「疲れた体をゆっくり休める様子」と「びっくりする様子」を表す擬態語であり、修飾する用言の種類も「쉬다 休む」、「놀라다 驚く」のように制限される副詞である。

3-3 否定の陳述副詞、類似副詞

「전혀 全然」という否定の形式と呼応関係を表す陳述副詞は、〈KOREAN I〉否定形の学習の際および〈KOREAN II〉でも学習項目には入っていない副詞である。

また、既習した副詞「언제나 いつも」と類似する副詞として「항상 늘 常に、ずっと」の学習も行われる。

3-4 「바로」

「바로」の辞書的な意味は、「まっすぐに」という空間的な意味と「すぐ、直ちに、早速」という時間的な意味、さらに「(心がけ・行いなどを)正しく」、「正確に、きちんと」、「間違いなく、まさに、ほかならない、ちょうど」などの様々な意味を持つ副詞である。〈KOREAN III〉に出てくる「바로」の意味は以下の通りである。

3-4-1 「すぐに」

- (27) 마이클 씨는 관광 상품을 바로 예약했다.
(p.82)

マイケルさんは観光をすぐに予約した。

3-4-2 「まさに、ほかならない」

- (28) 그런데 몸이 스스로 치료를 하는 시간은 바로 사람이 잠을 자는 시간이다.
(p.122)
ところが、体がみずから治療をする時間はまさに人が寝る時間である。

4. 『이화 한국어 梨花韓国語 3-1』の副詞

〈KOREAN V〉は、上級レベルのクラスであるので、文法項目の内容とともに副詞の語彙のレベルも高くなるのがわかる。とくに、形容詞の語彙レベルに合わせて、形容詞からの派生副詞の語彙レベルが著しいといえる。派生副詞のうち「速く」の意味を持つ副詞は、既習の「빨리」のほかに「빠르게」¹⁰⁾もあらわれる。また、譲歩文中で用いられる「아무리 どんなに、いくら」も初出する。次の〈表4〉に、〈KOREAN V〉ではじめて学習する副詞をまとめる¹¹⁾。

表4 KOREAN V

적극적으로	시각적으로	직설적으로	간접적으로	그대로
진심으로	실수로	신나게	따뜻하게	맑게
잘되게	담백하게	어색하게	번거롭게	한가하게
정확하게	늦게	빠르게	직설하게	무사히
충분히	완전히	상당히	당연히	우연히
유난히	자세히	마치	점점	점차
워낙	마침	마침내	자꾸	무엇보다
조금밖에	아무리	더 이상	게다가	오히려
반면에	확	꼭	살짝	흠뻑

4-1 複合副詞

名詞の「무엇 何、반면 反面」に各々比較する対象を表す助詞「보다 より」と「에 に」という助詞がついた副詞の「무엇보다 により」、「반면에 反面、一方」を学習する。また、

10) 「빠르게」は、「하다 する」が後続して、「빠르게 하다 速くする」という使役表現となる。

11) 〈KOREAN I-III〉で既習した副詞は省く。

「조금 少し」に否定の表現とともに用いられる助詞「밖에 しか」のついた「조금밖에 少ししか」もある。

なお、語順においてほぼ一致するといえる日本語と韓国語のうち、副詞「더 이상 これ以上」は語順の差を見せる重複する副詞として学習する。

4-2 「많이」

次の(29)は、形容詞「多い」からの派生副詞「많이 多く」の拡張した意味を学習することができる。

(29) 어렸을 때부터 많이 어울려 놀았고 마음도 잘 통했습니다. (p.50)

幼い時から「幾度となく／いつも」一緒に遊び、よく心も通じ合いました。

4-3 擬態語

情態副詞に分類される「확」は、風が急に強く吹く様子の「ひゅうっと」、力を込めてすばやく行動する様子の「さっと、ぱっと」という意味の擬態語である。

力を入れて押さえつけたり縛りつけたり握りしめる様子・満ちている様子の「딱 ぎゅっと、ぎゅっと」、物事の程度がごくわずかである様子の「살짝 うっすら、ちらっと、こっそり」も〈KOREANV〉の初出副詞である。

(30) 스트레스가 확 풀려요. (p.48)

ストレスがぱっとなくなります。

(31) 게시판이 딱 차서 다른 광고 위에 새공고를 덧붙였다. (p.133)

掲示板がぎゅっと埋まってほかの公告の上に新しい公告重ねて張りつけた。

(32) 여자 친구는 웃을 때마다 살짝 보이는 덧니가 아주 매력적이다. (p.133)

彼女は笑うときにうっすら見える八重歯がとても魅力的だ。

5. 『이화 한국어 梨花韓国語 3-2』の副詞

〈KOREANV〉クラス同様、上級レベルである〈KOREANVI〉のテキストも形容詞からの派生副詞の語彙項目が多い傾向は変わらない。著しい特徴といえることとして、「慣用句」を用いる副詞の学習をあげられる。

5-1 慣用句を用いる副詞

「어쩔 수 없이 仕方なく」は、「어쩔 수 없다 仕方ない」という慣用句に接尾辞「-이」がついた副詞である。また、慣用句ではないが、「삿살같이 矢のように、非常に速く」は、「삿살같다 射られた矢のようだ」という形容詞に接尾辞「-이」がついた派生副詞もある。

「눈 깜짝할 사이에 瞬く間に」は、「눈 깜짝할 사이 瞬く間」という慣用句に助詞がついてでき

表 5 KOREANVI

한창	반드시	아무튼	부쩍	무심코
괜히	잠자코	도저히	으레	아무래도
어찌다가	잇따라	그럴수록	통	어디까지나
습관적으로	실제로	마찬가지로	순식간에	눈 깜짝할 사이에
신중히	유심히	어쩔 수 없이	높이	가까이
삿살같이	밤낮없이	종종	간단하게	다르게
섬세하게	풍부하게	능숙하게	자유롭게	힘차게
경솔하게	심각하게	원만하게	편하게	이상하게
당당하게	밝게	가깝게	별로	그다지
딱	싱글빙글	꾸벅꾸벅	우르르	살살
쭉	덜			

た副詞である。ほとんど同じ意味として使われる「순식간에」の学習も行われる。

5-2 派生副詞

〈KOREAN V〉まで、形容詞からの派生副詞のパターンを見てきたとおり、〈KOREAN VI〉にも接尾辞「-이」および「-히」がついた副詞などの学習は続く。ただ、「잇따르다 相次ぐ」という動詞の連用形を用いる「잇따라 たて続けに」のような副詞のパターンと、「どうする」という動詞と「どんなだ」という形容詞に相当する「어쩌다」に「-다가 -する途中で」という語尾がついた「어쩌다가 偶然に、たまたま」という副詞が初出する。

5-3 擬声語

情態副詞のうち、擬態語である「싱글빙글 にこにこ」、「꾸벅꾸벅 こっくりこっくり」となどの学習のほかに、大勢の人・動物が群がって歩いたり動いたりする様子を表す擬態語「우르르 わあっと、どやどやと」という積み上げたものが崩れる様子を表す擬声語「がらがらと、ごろごろと」という意味も持つ副詞の学習もある。

6. ま と め

〈KOREAN I -VI〉¹²⁾で学習する副詞の種類は、学習時間の増加とともに増えるはずなので、本稿は学習する副詞のパターンについてみた。〈KOREAN I〉で学習する情態副詞と程度副詞は、서정수 (1996) の単純副詞であるが、〈KOREAN II〉では接尾辞「-이」形の派生副詞の学習が行われる。またテキストの例文をあげて、文脈によって異なる意味を持つ副詞について検討することもできた。なお、〈KOREAN II〉で学習する副詞は 50 以上で、〈KOREAN I〉の副詞の 8 種類の 5 倍以上となり、文法的な内容のレベルアップ（主

に、用言の活用）とともに習得しなければならない副詞の語彙レベルも著しく上達する段階であると考えられる。副詞の習得のパターンは上級レベルになると、形容詞からの派生副詞および擬態語と擬声語、さらに慣用句を含む副詞の学習へと続くことが分かった。

参考文献

- 沖森卓也編 (2013) 『日本語概説』 朝倉書店
 沖森卓也ほか (2013) 『図解日本語』 三省堂
 沖森卓也・曹喜澈編 (2014) 『韓国語と日本語』 朝倉書店
 金水敏ほか (2000) 『時・否定と取り立て』 岩波書店
 寺村秀夫 (1991) 『日本語のシンタクスと意味Ⅲ』 くろしお出版
 寺村秀夫編 (1995) 『ケーススタディ 日本文法』 おうふう
 深見兼考 (1997) 「日本語と朝鮮語の「非意図的」他動詞文について」
 『日本語と朝鮮語 下巻』 国立国語研究所
 山田孝雄 (1936) 『日本文法学概論』 宝文館
 남기십・고영근 (1998) 『표준국어문법론』 탐출판사
 박정규 (2003) 『국어 부정문의 체계적 연구』 보고사
 손남익 (1995) 『국어부사연구』 박이정출판사
 서정수 (1996) 『현대국어문법론』 한양대학교 출판원
 성광수 (2008) 『한국어 표현 문법』 한국문화사
 이익십・채완 (2000) 『국어문법론강의』 학연사
 임유중 (1999) 『한국어 부사 연구』 한국문화사

テキスト

- 『이화 한국어 梨花韓国語 1-1』 (KOREAN I ; 2020 年春学期のテキスト)
 『이화 한국어 梨花韓国語 1-2』 (KOREAN II ; 2020 年秋学期のテキスト)
 『이화 한국어 梨花韓国語 2-1』 (KOREAN III ; 2021 年春学期のテキスト予定)
 『이화 한국어 梨花韓国語 3-1』 (KOREAN III ; 2020 年春学期のテキスト)
 『이화 한국어 梨花韓国語 3-2』 (KOREAN V ; 2020 年春学期のテキスト)

12) 〈KOREAN IV〉を除く。